

掘り出されたくらし —令和4・5年度の調査—

北上市立埋蔵文化財センターでは、令和4年度に八天遺跡、二子城跡、馬場野遺跡、堰向Ⅱ遺跡、鳥海柳遺跡、蛭川遺跡、下仙人館跡、令和5年度に八天遺跡、唐戸崎遺跡、藤沢遺跡、滝ノ沢遺跡、蒲沢遺跡、牡丹畑遺跡、羽場遺跡の調査を実施しました。北上市の歴史に迫る、最新の発掘調査成果をご覧ください。



▲八天遺跡（令和4・5年度調査）

八天遺跡 —更木—

国指定史跡。縄文時代の大規模な集落跡・祭りの場。史跡整備に向け、内容確認調査を継続して行っています。

今回の調査では、縄文時代後期の盛土遺構、炉跡、土坑、柱穴状土坑、子ども用とみられる墓坑など、たくさんの遺構が見つかりました。



下仙人館跡（令和4年度調査）▲

下仙人館跡 —和賀町岩沢—

遺跡内には国重要文化財多聞院伊澤家住宅があります。今回の調査は、伊澤家住宅への消防防災道路を建設するために行いました。

縄文時代の竪穴住居跡2棟、土坑10基、中世の堀跡3条、近代の馬を埋葬した土坑2基が見つかりました。堀跡からは室町時代の終わり頃（16世紀後半）に流通した「聖宋元宝」の模鑄銭（日本国内で複製されたお金）が出土したことから、この時期には城館として利用されていたと考えられます。

関連行事 発掘調査報告会・講演会

令和7年

3月15日（土）（午後1時～4時30分）

日本現代詩歌文学館 講堂（北上市本石町二丁目5番60号）

■ 北上市発掘調査報告会（午後1時～2時45分）

令和6年度市内調査遺跡

市調査：八天遺跡、秋子沢遺跡

県調査：岡田遺跡

特別報告：『モンゴル国青銅器時代（アフアナシェヴォ文化）墳墓の発掘調査』

報告者：福井 蓮（埼玉大学大学院）

■ 講演会（午後3時～4時30分）

演題：『重要文化財多聞院伊澤家住宅と下仙人館跡』

講師：室野 秀文（日本考古学協会）



会場案内図